

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市バイオマスタウン推進協議会
2 開催日時	平成30年1月29日（月）14:00から
3 開催場所	河内長野市役所 3階 302会議室
4 会議の概要	1. 河内長野市バイオマスタウン推進計画に掲げる各項目の進捗について （1）タケの利活用 （2）廃食用油の利活用 （3）木質の利活用  2. その他
5 公開・非公開の別 （理由）	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	（担当課名） 環境経済部 環境政策課 （内線 415）
8 その他	

\*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

## 平成 29 年度第 1 回 河内長野市バイオマスタウン推進協議会 議事要旨

開催日時：平成 29 年 9 月 27 日(水), 14:00～15:40

開催場所：河内長野市立市民交流センター 集会室

〔出席者〕 (省略)

### 次第

1. 河内長野市バイオマスタウン推進計画に掲げる各項目の進捗について
  - (1) タケの利活用
    - ① タケコンポスト共同研究の経過報告
    - ② 広域連携の取組みについて
    - ③ 今年度の中間成果報告会について
  - (2) 廃食用油の利活用
    - ① 自治会と連携した戸別回収事業について
    - ② 利活用方法の多様化について
  - (3) 木質の利活用
    - ① 薪ステーションの状況
    - ② 樹木精油としての利活用について
2. 河内長野市バイオマスタウン推進計画における実施計画について
3. その他

### 開会

開始時間になり、会長あいさつの後、議題に入った。

### 議題

1. 河内長野市バイオマスタウン推進計画に掲げる各項目の進捗について
  - (1) タケの利活用
    - ① タケコンポスト共同研究の経過報告  
大学内での研究と並行し、河内長野市内の農家の協力を得て、圃場での試験を行っている。研究成果は、中間成果報告会でお伝えする。
    - ② 広域連携の取組みについて  
平成 29 年 6 月 15 日(木)に、大阪府立大学中百舌鳥キャンパスにおいて、岸和田市丘陵地区整備課、和泉市農林課、環境保全課、河内長野市環境政策課職員が集まり、大阪府立大学東條教授、浦出助教同席のもと、バイオマス利用の現状や意見交換を行った。今後、バイオマス利用について連携して取り組んでいくことを確認した。
    - ③ 今年度の中間成果報告会について  
次回のバイオマスタウン推進協議会終了後の開催で、開催時期は平成 30 年 1 月頃を予定している。
  - (2) 廃食用油の利活用
    - ① 自治会と連携した戸別回収事業について  
今年度は、小山田小学校区まちづくり協議会と連携して実施予定である。
    - ② 利活用方法の多様化について  
奥河内 boon などイベントでの SVO 発電機の利用を進める。  
また、回収した廃食用油を原料に事業者がハンドソープを製造するよう調整しているところである。そのハンドソープを回収拠点等に設置して、リサイクルが見える形で事業を PR

したい。⇒回収実績を公表するとき、「昨年の廃食用油回収量で〇〇〇人の手が洗えます！」という見せ方で、回収協力への還元を分かりやすく表現してはどうか。プルタブやエコキャップのように、「社会貢献につながっている。集めたい。」という気持ちになるような仕組みづくりが必要ではないか。

### (3)木質の利活用

#### ①薪ステーションの状況

森林組合での薪の販売は、大手ホームセンターや農産物直売所での販売、くろまろの郷や組合事務所での販売を行っている。また、薪ストーブの焚き付け用として、スギの端材やカナ屑、スギの葉（スギ玉を解体したもの）を箱詰めし、販売している。

#### ②樹木精油としての利活用について

先日、橋本市にある精油の工場を見学に行った。丸太だけでなく剪定枝も使えるということであったので、河内長野市の木材利用につながるのではと考えられたが、樹種や部位を区分して出荷しなければならないので、材料の提供は難しそうであった。

## 2. 河内長野市バイオマスタウン推進計画における実施計画について

推進計画の内容に基づいた実施計画であったので、実施計画の内容についての意見はなかった。

## 3. その他

協議会として、今後連携を図っていくこととなった岸和田市のバイオマス利用の取り組み状況を視察したいとの意見が出され、年内に視察研修会を開催することとした。

閉会